

本高同窓会報

発行
本庄 高校同窓会
会長 岡 祐孝
事務所 本庄市銀座3-5-8
岡 病院内

昭和六十年度総会開かれる

総会に

恩師招待

本庄高校同窓会は去る六日九日午後三時半より埼玉ランドホテルにて昭和六十年度通常総会を開催した。今回は新機軸として内田、前島、栗田三恩師の招聘と総会終了後のティーパーティーに本高OBを主体とした柏グリーンクラブの合唱を企画した。

岡会長の挨拶の後、立川副会長議長となり議事に入り

- 一、昭和五十九年度事業報告並びに収支決算報告(戸谷会計)
 - 二、監査報告(山本厚生監事)
 - 三、昭和六十年度事業計画並びに収支予算案承認(戸谷会計)
 - 四、会則改正案承認
 - 五、役員増加
- 以上議事は建設的意見の内に全会一致で承認された。

そのあと来賓として母校校長岡敏朗先生及び恩師を代表して内田典夫先生の祝辞を頂き盛況裡に終了した。

→写真右から

内田 典夫先生
前島 堅二郎先生
栗田 竹雄先生



←祝賀パーティー風景



昭和60年度事業計画

60年4月 定例役員会
名簿作成委員会
5月 定例役員会
同窓会会報No.3発行
6月 定例役員会

7月 定期総会開催
定例役員会
高校野球応援
8月 定例役員会
名簿作成委員会



同窓会長 岡 祐孝

ごあいさつ

待望の本高同窓会報第四号が同窓会執行部は、本年度の総会発行される運びとなりました。発行を祝して一言ご挨拶申し上げます。親愛なる同窓生の皆様には、平素会の運営に絶大なご協力をお願いし、誠に有難く心から厚く御礼申し上げます。折々、埼玉県立本庄高等学校創立六十周年記念事業の一環として、本年八月に、同窓会名簿を発刊し皆様のお手許にお届けすることが出来ました。そして集大成された会員名簿が、幸いにも大変ご好評を頂き、多数会員のご購読を賜りましたことは、ご同慶の極みです。名簿作成委員諸氏の年余に亘る真摯なご尽力に深甚なる謝意を表します。次に

待望の

名簿発行

今回の名簿刊行に当りましては、会員の皆様方の絶大なご協力によるものと感謝にたえません。お陰様で発行総数は四九六〇冊に達しました。現在予備が若干ございますので購入ご希望の方には一冊四〇〇〇円でお分け致しております。連絡先
千367 本庄市柏一四一
本高事務局 山本 迄
電話(〇四九五)二二二一九五

役員名簿

本部役員

会長 岡 祐孝
副会長 立川大作、竹並栄一郎、橋爪茂夫、関口一郎、吉田建治、高木敏子、杉山律子、松本敏一、(教頭) 岩田 淳、手島 登
会計 戸谷全亮、江原清吉、監事 山本厚生、内野ヨシエ、顧問 堀原英雄、持田直次、(校長) 岡谷敏朗

支部役員

本庄地区連合支部長 立川大作
上里地区支部長 荒井富士雄
児玉地区支部長 吉田建治
深谷地区支部長 関口一郎

新支部役員

伊勢崎地区支部長 小此木薫一
寄居地区支部長 朝比奈利雄
県庁東南支部長 高橋英二
東京地区支部長 富田三郎

新年懇親会

とき 六十一年二月十五日(土) 午後五時
ところ 本庄市 五州園
かいひ 三万円
申込 事務所まで。



会員の皆様へ

校長 国谷敏朗

異常とも言える暑い夏も過ぎ、漸く秋も深まって参りました。会員の皆様には、ますますお元気に各界で御活躍のことと拝察申しあげます。

お陰様で本校も順調に歩みを続けておりました。去る九月二十八・二十九日には盛大に文化祭も開催されました。三年生の就職も始まっており、進学も推薦入学等は少々早目になって来ているようであります。本年度の成果も問われる訳で不安と期待をもって見守っております。

また、今回正門通路の整備にあてがせていただきました。通路の両側に透水ブロックで歩道をつくり並木として楠の木十八本を植え更に植込みも整備いたしました。成長すれば素晴らしい本高並木となることを期待されます。一部に五十九年度卒業記念の植樹も含んでおります。本年度PTA・後援会の事業として取組んでいただきました。又PTA・後援会の事業として第二グラウンドの整備もいたしました。何をやるにしても多くの同窓生が直接、間接に関係して下さり頼母しい限りです。感謝をしつつご挨拶いたします。

母校クラブ活動近況

全般的にみて、活発な運動部、やや低迷の文化部、というのが本高部活動の現状を見た印象です。

「それぞれの卒業生のそれぞれの想い出につながるもので、全ての部の様子を」という編集部の要望で、全ての部活動を、従って極めて概括的に、報告いたします。

(一)内数字は、五月現在の部員数で男・女の順。加入率89%。

文化部

文芸部(25・19)は、柏樹祭に照準を当てて活動、昨年度までの「邪道」に代って詩集「邊疆」を創刊した。「光源氏の女性関係」が今年の研究テーマ。

社会科研究部(11・14)は、柏樹祭へ向けて「天皇」を研究し現在、機関誌「社会の窓」を編集している。

考古学部(30・7)は、縄文から古墳時代を中心に人類の過去を学んでいるが、活力ある実績づくりが課題だ。

化学部(16・10)は、各自テーマをもち、科学的興味・関心を深めつつ実践力を高め、創造性を培うことをめざしている。

生物部(6・0)は、今年度から両生類の実験動物化をイモリで研究、既に実験動物化されているワタホシコオロギ、アフリカツメガエル等の継代繁殖の実験を行っている。今夏、奥秩父の金峰山で動植物調査を実施、柏樹祭で発表した。

地学部(21・16)は、年間を通して太陽黒点、気象、流星、月食等の観測を行っている。本年は柏樹祭参加の他、図書館講座で「ハレー彗星」を発表した。

電気部(23・2)は、伝統的な無線と、近年主流になったコンピュータの二部門を活動対象にして、各種研究、コンテストへ参加している。

英語部(3・23)は、生徒の手にする自主活動を進めているが活動の方針やスタイルに改善の必要がある。

吹奏楽部(11・41)は、定期演奏会(本年は六月二十四日)から野球部応援まで、多彩な演奏活動を行っている。同好の仲間が結束しているので連日の練習にも熱意がある。男子部員がもっと欲しい。

フォークソング部(26・30)は、三年生のラストコンサート、一・二年生の柏樹祭演奏を目標に、チーム編成で互いに協力しながら活動している。

美術部(10・20)は、県展、六月展、柏樹祭、慶原会展など、ほぼ一か月に一行事をアタクセントに活動が日常化し、「自然を愛し創作の楽しさを学んで」いる。

書道部(1・7)は、六月展柏樹祭、二月展の他、数々の展覧会に出品、本年は、日本武道館書道道展で優秀団体賞、近江神宮全国献書祭で滋賀県協議会長賞、八日市市長賞などを受賞し、創作活動にさらに拍車がかかっている。部員の少ないのが……

演劇部(8・13)は、最近部員も増え、部員の創作劇を三回校内公演し、活動が向上している。基礎訓練を背景にしたレベルアップが課題である。

茶道部(1・26)は、柏樹祭までの半年間で、白紙から平手前まで。小堀や濃茶、更には「茶のこころ」まで触れたい。活発になってきているが、練習時間が足りないのが悩みである。

放送部(0・22)は、日常の学校運営の補助的活動が多く、コンテストなどにしても、いわゆる「華々しい」活動はない。

図書部(16・24)は、読書活動を中心に年三回ほど手作り小冊子「白い森」を発行。一昨年から古典にも取組み、柏樹祭では「源氏物語」、「太平治」、「シュリマン」を発表した。

新聞部(1・9)は、文化活動に対する生徒の要求のあり様が変ってきているのか、近年部員の定着度が悪い上、活動する部員が極めて少ない。どうか質的レベルを守っている状態である。

写真部(10・7)は、六月展柏樹祭、二月展を軸に活動しているが、実技・理論とも、更に磨きをかけた。

将棋部(8・0)は、年間二回の県大会の他は、主に校内で実戦練習を行っている。

囲碁部(5・8)も、ほぼ同様で、活動の活性化を模索中である。

音楽部(3・2)は、部員数が極端に減り、事実上活動を休止している。

弓道部(18・29)は、県北ではかなり上位に入賞するが、県大会二次予選の通過が出来るかというところ。コーチの確保と道場の整備が望まれる。

剣道部(13・10)は、男子部員が増えて活気が出て来た。県大会四回戦進出というところ数年間の女子の最高実績を目標に、当面男女そろって二回戦以上をめざしている。

柔道部(28・4)は、秋の新人戦でベスト8に勝ち残り意気が上がっている。三年生引退後は大方一年生というのが悩みでもあり期待でもある。

サッカー部(30・2)は、ここ数年着実に力を伸ばし、県のトップレベルにまで成長、サッカー県高の代表権を狙える位置にいる。本年、新人戦三位、関東大会予選は八位にとどまったものの、

(次頁へ続く)

内科・小児科・循環器科・放射線科
胃腸病科・呼吸器科・理学診療科
人工透析・人間ドック

岡 病院

院長 岡 祐 孝(旧中9回)

本庄市銀座3-5-8 電話(0495)22-6291代

学校法人 小林学園

本庄東高等学校

校長 小林徳一郎(旧中9回)

本庄市日の出1-4-5 電話(0495)22-6351代

恩師の便り

去る総会に御招待申し上げました三人の恩師より頼りがりがありましたので掲載させていただきます。(尚紙面の都合で一部略させていただきます)

内田典夫先生

(大正二五年・昭和十五年勤務)

拝復 つゆ空もそろそろあがって、もよおすに思われる今日この頃です。本日は丁寧なお手紙に添えて貴重な同窓会の記念写真お送りいただき有難うございました。また総会には至れり尽せりの御接待に預り誠に光栄に存じております。同窓各位にも何十年という歳月を経て今ではご立派な紳士となられて社会の中枢として御活躍の顔を見てこの上なく力強くうれしく存じあげております。どうぞお健やかにお過ごし下さいませに祈りあげます。

前島堅二郎先生

(昭和三年・昭和三十九年勤務)

拝復 お忙しいところ懸々スナッ写真御送り下され、誠に有難

栗田竹雄先生

(昭和九年・昭和二十五年・昭和三十四年・昭和四十九年)

うございました。当日の色々ことが想い出されました。同窓会の皆様にもよろしく御伝え願います。先は取敢えず御礼まで 敬具

拝啓 長い雨天もようやく梅雨明けの微候が見えて来て暑い夏の訪れが近づいたことを感じます。

今日はご郵重なお便りを戴きましてほんとうに有難うございました。また懐かしいお写真を感謝下さいまして感謝いたして居ります。総会当日の情景を思い浮べながら拝見させていただきました。申し後れましたが去る六月九日同窓会の総会の当日は招待いただきました誠に有難うございました。

た。現職当時の学校の様子など色々と思出が多くほんとに有意義な一時でした。(以下略)

(二頁から続き)

来年の正月大会への県予選では、現在一次予選(ベスト16)を通過、十一月下旬からの決勝リーグに進んでいる。野球部と共用のグラウンドが狭いのが悩み。

硬式庭球部(48・40)は、生徒の自主計画に従って日曜日も練習。本年の県北部地区大会では、男子シングルス一、二位、ダブルス二位、新人戦では男子シングルス三・五位、ダブルス二位、女子ダブルス二位となった。80名以上の部員でコート二面は厳しい練習条件で、現在二班編成で時間差練習などをとっているが、県大会上位入賞にはコート確保が最大課題である。

軟式庭球部(28・18)は、ここ一、二年間部員が急増、それに応じて県大会まで進出する選手が増えた。ここ一番という時の精神力のものを克服、練習コート不足の解消が課題である。

更衣室、浄化施設を新しくした水泳部(8・7)は、レベルアップした県水準への到達をめざし新気一転の活動を続けている。

スキー部(17・13)は、僅か三か月間のシーズンに向けて陸上トレーニングを積み、昨冬、インターハイ出場一名(県予選女子優勝、男子四位)、関東大会へ九名出物など、ますますの成績をあげた。

野球部(24・3)は、古豪復活をめざして、年間70回もの練習試合を消化して夏の大会に臨んだが、四回戦で所沢南に0対2で惜敗、結成間もないOB会の熱い声援に励みきれなかった。少い部員数や予算、狭いグラウンドと悩みも多い。

ソフトボール部(0・20)は、中学校での経験者が30%という悪条件を克服、秋の新人戦では県大会出場権を得た。

体操部(13・14)は、例年、関東大会、インターハイ、団体へと選手を送ってきたが、今年はやや低迷、次の飛躍に向けて充電中というところである。

卓球部(9・13)は、基本・応用・課題・実戦と体系的練習計画を年中無休で消化、熊鷹会商と並んで県北ベストの中に入っている。全国大会出場にあたり一歩。

陸上競技部(16・10)は、県大会出場者数も増え、六位以上入賞者を数名出すまでになった。今夏の第二グラウンド整備を機に、再び県大会出場、県大会での団体入賞を当面の目標にしている。

バレーボール部(24・25)は、女子が県北でベスト4以上、常に県大会出場力をもっている。男子も本年めきめき力をつけ、一、二年先が楽しみである。練習場の狭いのが悩みである。

バスケットボール部(26・21)は、大型化が進む中で、スピードと頭脳のチームプレイを身上に、県北上位に食い込み、県大会への出場も果たした。長身者、練習場の課題とともに県大会常時出場が目標。

県下公立高校では唯一のボクシング部(9・1)は、最近の私立高校台頭で苦戦中だが来年へ向けやう上昇ムードだ。

登山部(26・8)は、中部、上越、東北の山々を中心に年間六回程度の山行を実施。昨年、インターハイに男子が県代表で出場、28位となった。

(教頭 岩田 淳)

スローガン

1. 名誉ある歴史と伝統に輝く母校を愛し、母校の発展に寄与しよう。
1. 本高同窓会の旗の下に結集し、地域に香り高い文化の花を咲かせよう。
1. 人間関係を大切に、会員相互間に親睦の輪を拡げよう。
1. 組織を整備強化し、機能的な連絡網を拡充して、同窓会の活性化を図ろう。
1. 建学の精神を尊重し、後輩の指導育成に努めよう。

冷暖房設備、給排水設備
衛生設備・各種管工事設計施工

長沼設備工業株式会社

社長 長沼 肇 (旧中19回)

本庄市前原2-3-18 電話 (0495) 24-2434(代)

内科・小児科・放射線科

塚越内科医院

医師 塚越 至 信 (旧中19回)

塚越 茂

本庄市本庄1-1-6・電話 (0495) 22-3152

終身会費納入についてお願い

親愛なる同窓生の皆様、平素本高同窓会の為に多大のご協力を賜り誠に有難うございます。扱て、同窓会本部では、今回同窓会員名簿昭和六拾年版を発刊いたしました。同窓会活動を円滑に推進する上で一番大事なのは、同窓会内の通財源の確保であり、幾多の事業を遂行しようと思つと、相当の基礎財源を必要とします。本高同窓会では年会費、金部千円也と入金金式千円也、それに終身会費金部万円也と、特別寄付金、其の他で財源を賄つております。終身会費納入制度は昭和五拾年持田前会長時代に総会の議決承認を得て制定されました。現在約参百名の納入者があります。終身会費納入者には、金部万円也のご拠出でその後の年会費は終身不要です。尚、同窓会本部の終身会費納入者で芳名簿にその名を記載して、永久にその高志を称えることにしております。その上、同窓会報の発送や総会其の他のご連絡を優先的に致します。何卒、同窓会発展のため旧のご支援と協力をお願い申し上げる次第です。

終身会費納入の際には左記口座に入金下さい。

郵便局振込口座番号東京三二一八七〇二〇、又は埼玉銀行普通預金口座番号本庄二八九一〇七七三。

本高同窓会役員一同

終身会費納入者芳名

卒業年度別 (敬称略)

旧中1 中村栄寿・増沢清茂
旧中2 森田徳英・日向喜平・高沢貞次・茂木米作
旧中3 亀田卯作・松永広純・岡部三郎・戸塚泰和・戸谷久衛・林牛太郎・森田勇・新井重十郎
旧中4 金井文雄・富田三郎・内山栄一・吉田逸男
旧中5 坂本良全
旧中6 萩原順・河田六郎・関

孝・立川大作・中林清次・山崎芳治・飯島彰・金井亮衛 旧中10
金井智治・丸橋寿男・武政文次郎・坂本良雄・伊久間秀光・豊園智望・新井勝雄・星野正幸・高橋晃・萩原武夫・高橋章・金田芳二郎・江原公治・長塚寿一・杉健次郎・日向忠蔵・吉田庄平・千代田正治・島塚重義・朝比奈慶光・長谷川寛・鈴木幾久・岡岸鶴五郎
旧中11 門倉義久・荒井富次雄・金子敏隆・藤牧一郎・中林慶司・坂庭吉次 旧中12 坂本敬信・松井保二・持田善丸 旧中13 四方田幸雄 旧中14 松崎正男 旧中15 須賀喜太郎 旧中16 横塚二郎平・齊藤福三郎・立石正美・小林幸緒・平岡万平・武正美・横堀芳彦・橋爪茂夫・田村裕・堀込平八・持田春男 旧中17 関口一郎・国谷敏朗・山田一男 旧中18 森田清司・高橋正昭 旧中19 桑原広太郎・赤沼真治・根岸良一・金井正浩・相川武雄・塚越至信・中田修一 旧中20 野口茂・井田恵夫・竹内善昭・岩本英人・高橋英二 旧中21 石原道夫・鈴木清司 旧中22 林芳和・福田喜一郎・萩原昌彦・村田敬次郎・高橋昭明・山中清 旧中23 石原輝弥 併中2 竹並栄一郎・落合洋之・赤沼賢一 旧女2 横山ハナ・町田アイ・石坂とわ・真下嘉子・飯塚ま津子・島居純子・松本英子・湯浅とし・斉藤三重子・折茂つね・萩野静枝 旧女3 吉田久枝 旧女7 金田不二子・杉山律子 旧女8 小泉マサ子・高木敏子・齊藤まき江・境野妙・原田一子

旧女9 高橋みよ子・十田貞子 旧女10 河田さた子 旧女11 渡辺セシ 旧女12 福島富美子・金子富美代 旧女14 岡てい子・飯島登志子・山口文子・齊藤美登 旧女15 河野恵美子・根岸富子 旧女16 福地典代・内野ヨシエ・佐藤千鶴子 旧女20 武井陽子・黒田はま子・浅見郁江・大島典子 旧女23 高田節子・塚越照子・森田昌子 旧女24 高1 戸谷全克・中原和喜 昭25 高2 定1 真下博孝・吉田健治・牛久保和雄・須賀裕・塚越寿衛・矢崎昭夫・上原智博・太田富人・松本敬一 昭26 高3 定2 青木謙二・春山一三・関口雅之・戸塚克男・内藤明・黒田達雄・竹内清四郎 昭27 高4 定3 柴崎起衛・江原清吉・中野恒・庄田孟史・矢島裕・加古親馬・松原康男・飯塚栄・河野元一・山口勝吉・荒井考 昭28 高5 定4 関根貴・栗田吉明・中沢要・清水敏・山田鎮政・関口八郎・日向義雄 昭29 高6 定5 松原文司・戸谷修康・島田徳三・坂本園子・島田澄子・新井茂・渡辺道夫・亀田弘 昭30 高7 春山茂之・桑原初江・野口幸子・木村喜美枝・高橋宏・荒井正夫 昭31 高8 定7 山本厚生・春山直・高橋美恵子・青木彰・岡田三郎・森彰 昭32 高9 定8 梅村孝雄・田村登美子・長沼重行・橋爪国典・川端勝治・門倉正隆・神長金義・小林金重・杉山則子 昭33 高10 定9 齊藤淑人・須藤好夫・柴崎起三雄・細谷保夫 昭34 高11 江原節子・萩原昭・山田米作・入和男 昭35 高12 定11 新井栄治・小林晶・中野朋子・設楽正春・金井文太郎 昭36 高13 大塚俊雄・福島八郎・中村勝 昭37 高14 牛久保敬一・真下恵美子・吉田俊子・宮部彰・富田百合枝 昭40 高17 定16 鹿田勇・松本真明・小笠浩一・大塚宏 昭41 高18 鳥羽登・吉田敬一・堀原正明・幸田優二・亀田能紀・田中靖夫 昭42 高19 定18 小谷野博・恩田高治・内田規晴・池田修爾・小林正夫・大場正明 昭43 高20 定19 目黒輝久・大塚実 昭44 高21 中原実 昭45 高22 富田進 昭48 高25 灰野千鶴 昭49 高28 山本康夫 (追) 旧中19 浅尾進一郎

謹告

すでに終身会費を納入いただいた方でも同窓会名簿を購入された方には「郵便振替払込用紙」が同封されますのでお返し下さい。

編集後記

今号は総会報告と母校岩田淳教授の御協力でクラブ特集。そして終身会費納入のお願いを特集しました。主な発送は終身会費納入者全員、各支部、母校生徒職員、近郊の主な事業所等です。編集御希望を事務局までお寄せ下さい。

昭和61年度総会

とき 六十一一年六月十四日(土) 午後三時三十分
ところ 本庄市瑞玉グラウンドホテル
親睦会 (希望者) 会費三千円

外科・胃腸科・肛門科

関根外科

関根貢 (高5回)

本庄市東台4-8-25 電話 (0495) 22-3596

出光スタンド

株式会社西本商会

代表取締役 西本雄太郎 (旧中22回)

本庄市本庄3-1-24 電話 (0495) 21-2727(代)